

健康増進に向けた取組（がん検診）

平成31年4月
厚生労働省健康局

新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

31年度予算(案):16億円
(30年度予算額:16億円)

がん検診受診率向上に効果の大きい個別の受診勧奨・再勧奨を実施するとともに、子宮頸がん検診・乳がん検診の初年度対象者にクーポン券を配布する。また、精密検査未受診者に対する受診再勧奨にも取り組む。

事業の概要

1. 個別の受診勧奨・再勧奨

子宮頸がん、乳がん、胃がん、肺がん、大腸がん検診について、**郵送や電話などによる個別の受診勧奨・再勧奨を行う(注)**とともに、**かかりつけ医を通じた個別の受診勧奨・再勧奨にも取り組む。**

- 注) 個別受診勧奨・再勧奨の対象
- 子宮頸がん検診: 20～69歳の女性
 - 乳がん検診: 40～69歳の女性
 - 胃がん検診: 50～69歳の男女(胃部エックス線検査は40歳以上も可)
 - 肺がん検診: 40～69歳の男女
 - 大腸がん検診: 40～69歳の男女



2. 子宮頸がん検診・乳がん検診のクーポン券などの配布

子宮頸がん検診・乳がん検診の初年度の受診対象者(子宮頸がん検診:20歳、乳がん検診:40歳)に対して、クーポン券と検診手帳を配付する。

3. 精密検査未受診者に対する受診再勧奨

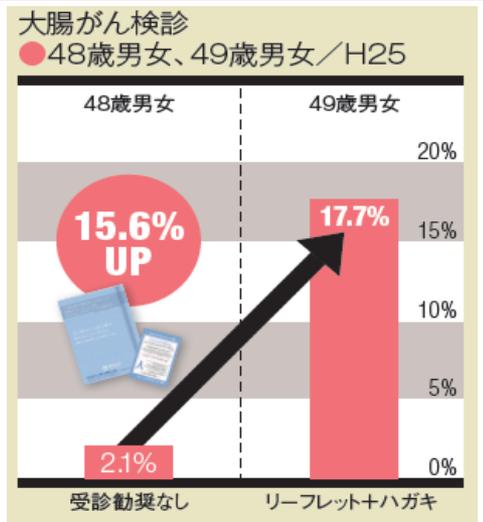
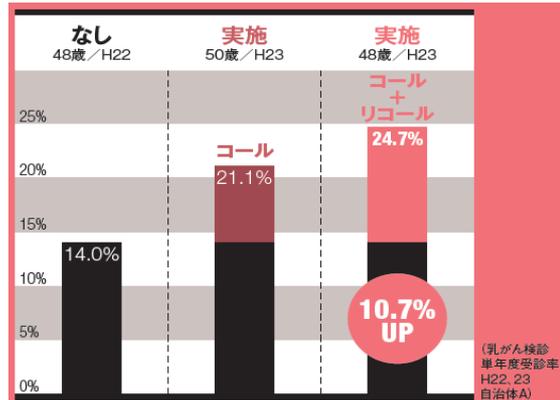
子宮頸がん、乳がん、胃がん、肺がん、大腸がん検診の**精密検査未受診者に対して、郵送や電話などによる個別の受診再勧奨を行う。**

実施主体: 市区町村 補助率: 1/2



がんの早期発見・がんによる死亡者の減少

(受診勧奨の効果の事例)



※がん検診受診率向上施策ハンドブック(厚生労働省)より

ソーシャルマーケティングを活用した受診勧奨

【取組内容】

- 国立がん研究センターで開発したソーシャルマーケティングを活用した受診勧奨用の資材を用い、2015年度より全国43都道府県194市町村で受診勧奨を実施。

【効果】

- 北海道A市（大腸がん2.7倍）、群馬県B市（乳がん3.5倍）、北海道C市（乳がん2.8倍）、広島県D市（子宮頸がん4.4倍）、群馬県E市（子宮頸がん3.2倍）大阪府F市（肺がん3.1倍）、茨城県G市（胃がん2.4倍）などがん検診の受診率向上を達成。

国立がん研究センター作成のリーフレット

コール用リーフレット
(年度始めに一斉送付)
－五がん検診

リコール用リーフレット (未受診者へ送付)
大腸、乳、子宮頸、胃、肺がん

圧着はがき
大腸、乳、子宮頸、胃、肺がん

リーフレット送付用 定型封筒

セット受診用チラシ
肺・胃・大腸がん

(出典) 国立がん研究センター保健社会学研究部

乳がん圧着はがき

(表面)

料金後納
郵便

転送不要

マンモグラフィはこんな検査です。

マンモグラフィは、いわゆるおっぱいのレントゲン

プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上からレントゲンを撮ります。

強く叩くことにより「撮影終了」

1cm以下のがんも見つけられる優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期乳がんの検出に有効です。

乳がん検診の流れ

Step 1 実施医療機関に直接予約

以下リストをご覧ください。
受診曜日や時間等、女性医師による検診の提供など、詳細は各実施機関にお問い合わせの上、ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

Step 2 受診

医療機関で、保険証を提示、受診費用を支払い受診。

検診 自覚症状等についてお聞きします
マンモグラフィ 乳房のレントゲンを撮ります

検査結果は後日郵送にてお知らせします^{※2}。

40歳を過ぎたら
乳がん検診

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

検診で「異常あり」となった場合は
その後必ず精密検査を受けてください。^{※1}

※1 検診では、がんでないのに「異常あり」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合があります。

実施医療機関一覧

〇〇町	〇〇〇〇医療	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇健診クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳癌クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000

※2 検診は各検診と、各医療機関が連携して行っています。検診結果の通知は医療機関で共有され、市区町村へ送付されます。なお、検診に受診した医療機関と異なる医療機関で検診検査を受けた場合は検診に受診した医療機関へも検診結果が共有されます。受診機関の検診結果は上記のとおり。

(裏面)

今年度は、〇〇市より 0,000円の助成^{*}があります！

今年度の助成対象の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、一万円を超える高価な検査ですが、市の検診を受けると0,000円の助成がです。(自己負担金0,000円)

検査費用	約〇〇〇〇円
一助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	0円

* 助成が実施されるのであります。

今年度の受診期間は、平成00年00月00日まで

※1 出典：乳がん検診センター「がん検診サービス」(がん検診、検診)
※2 出典：健康がん検診センター「がん検診サービス」(がん検診、検診)
※3 出典：全がん検診実施機関の5年相対生存率 〇〇〇〇-2008年調査

近年、日本人女性の11人に1人が 乳がんにかかると言われてます。^{*}

乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいんです。

誰がなっても
おかしくない
ですよ

セルフチェック
だと遅いかも...

**乳がんは40~50代女性の
がん死亡原因ナンバーワン^{※1}**

日本では、年間約1万4千人以上の女性が乳がんで亡くなっています。

**自己検診では見つからない
ケースがたくさんある**

早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に行うことが大切です。

乳がんは早期発見で95%以上が 治療します。^{*}

正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

5年相対生存率

100.0%

※1 検診なしの場合
(1期)

※2 検診あり
※3 検診あり

34.9%

※4 検診なしの場合
(2期)

**乳がん検診は2年に1度
必ず受診して下さい**

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、しこり、乳房のむくみ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の腫瘍やたれなどの症状がある場合は次の検診を待たずに病院へ行きましょう。

(出典) 国立がん研究センター保健社会学研究部

3

ヒアリング項目： **健康増進に向けた取組**

担当府省：厚生労働省

第4次男女共同参画基本計画における記載箇所		P56 第6分野 生涯を通じた女性の健康支援 1 生涯にわたる男女の健康の包括的な支援
女性活躍加速のための重点方針2018との関連	通し番号	1、5
	記載箇所	P2 I 女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現 1. 生涯を通じた女性の健康支援の強化 (1) 女性の健康増進に向けた取組 ①子宮頸がん・乳がん等を含むがん検診の更なる普及 ②ライフステージに応じた健康保持の促進
女性活躍加速のための重点方針2017との関連	通し番号	148、155
	記載箇所	P22 II 女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現 3. 生涯を通じた女性の健康支援の強化 (1) 女性の健康増進に向けた取組 ①性差医療に関する調査研究 ③女性の健康維持の促進に向けた取組
女性活躍加速のための重点方針2016との関連	通し番号	112
	記載箇所	P13 II 女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現 3. ライフイベントや性差に即した支援の強化 (1) 女性の健康、妊娠、出産、育児、介護の支援の推進 ①
女性活躍加速のための重点方針2015との関連	通し番号	—
	記載箇所	—